

川崎重工業株式会社広報部 [東京] Tel.03-3435-2130 [神戸] Tel.078-371-9531 www.khi.co.jp

NO.2015075

2016年1月28日

各 位

会社名	川崎重工業株式会社
代表者名	取締役社長 村山 滋
コード番号	7012 東京① 名古屋①
問合せ先責任者	経理部長 加藤 信久
問合せ先窓口	広報部 (TEL 03-3435-2130)

平成28年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

川崎重工は、平成27年10月29日に公表した平成28年3月期通期（平成27年4月1日～平成28年3月31日）の連結業績予想について、下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想

(1) 平成28年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (平成27年10月29日発表)	百万円 1,610,000	百万円 96,000	百万円 100,000	百万円 69,000	円 銭 41.30
今回修正予想 (B)	1,570,000	91,000	89,000	45,000	26.93
増減額 (B-A)	△40,000	△5,000	△11,000	△24,000	—
増減率	△2.4%	△5.2%	△11.0%	△34.7%	—
(ご参考) 前期実績 (平成27年3月期)	1,486,123	87,259	84,288	51,639	30.89

(2) 修正の理由

当社を取り巻く経営環境は、先進国経済の緩やかな成長が見込まれる一方、新興国の景気減速、原油安、米国金融政策動向による影響等の懸念があり、先行きについて不透明感があります。

こうした経営環境の下、当年度の連結売上高は、車両事業やガスタービン・機械事業における売上計上時期の見直し等を反映して、前回(10月29日)公表値から400億円減少の1兆5,700億円となる見通しです。連結営業利益は、売上高の見直しに伴う影響及び前提となる為替レートを見直したこと等により前回公表値から50億円減少の910億円となる見通しです。

また、ブラジル造船合弁事業にかかる損失の計上(1月14日付 プレスリリースで開示)等により、連結経常利益は110億円減少の890億円、親会社株主に帰属する当期純利益は240億円減少の450億円となる見通しです。

なお、本業績予想における為替レートは、1ドル=117円、1ユーロ=127円を前提としております。また、上記見直しには、今後想定される税制の変更による影響は織り込んでおりません。

2. 期末配当予想

本連結業績予想の修正に伴う期末配当予想（1株当たり7円）の修正は行いません。

以 上